

回復期機能病床整備事業への参画

令和3年9月6日

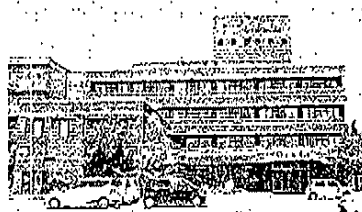
佐賀県地域医療構想調整会議 中部構想区域分科会

医療法人 公和会 小野病院

理事長 横須賀公彦

はじめに

小野病院の沿革



- ・ 昭和32年9月；開院（22床、水ヶ江）
- ・ 昭和35年9月；移転（61床、巨勢）
- ・ 昭和55年5月；新築建替（81床）
- ・ 昭和59年7月；増築（90床）
- ・ 令和 3年4月；医療法人化（医療法人 公和会）

小野病院の概要

- ・ 佐賀市巨勢町牛島に位置し、新築建替から41年が経過
- ・ 二次救急指定病院として地域に密着した医療を提供、救急搬送は月に約70件、手術も担う
- ・ 診療科目；脳神経外科、整形外科、外科、内科、リハビリテーション科、皮膚科
- ・ 介護事業；通所・訪問リハビリ（令和2年7月より開始）
- ・ 病床数；一般病床90床（15対1）
- ・ 特徴；高齢者が多く、認知症患者も多い、基幹病院からハイリスク患者の受け入れ

新築移転に伴う病床機能の転換への経緯

- ・ 令和元年1月下旬
小野病院の老朽化に伴い
 - ① 小野病院の移転事業を計画
 - ② 移転候補地を検討
- ・ 令和元年4月下旬
 - ① 事業計画と収支予算
 - ② 有限会社小野医療設備の臨時理事会にて移転候補地の購入を議決
- ・ 令和2年4月中旬
建築設計会社決定、農振除外申請、都市計画申請
- ・ 令和2年9月上旬
佐賀県の回復期機能病床整備事業に申請書を提出
- ・ 令和3年4月
 - ① 小野病院の医療法人化
 - ② 農地転用申請許可、開発許可申請許可

病床機能転換の背景

佐賀県の地域包括ケアシステムを推進するため

- ① 後方支援病院（回復期病床）としての機能の充実が必要
- ② 在宅復帰を促進するため、介護との連携が重要

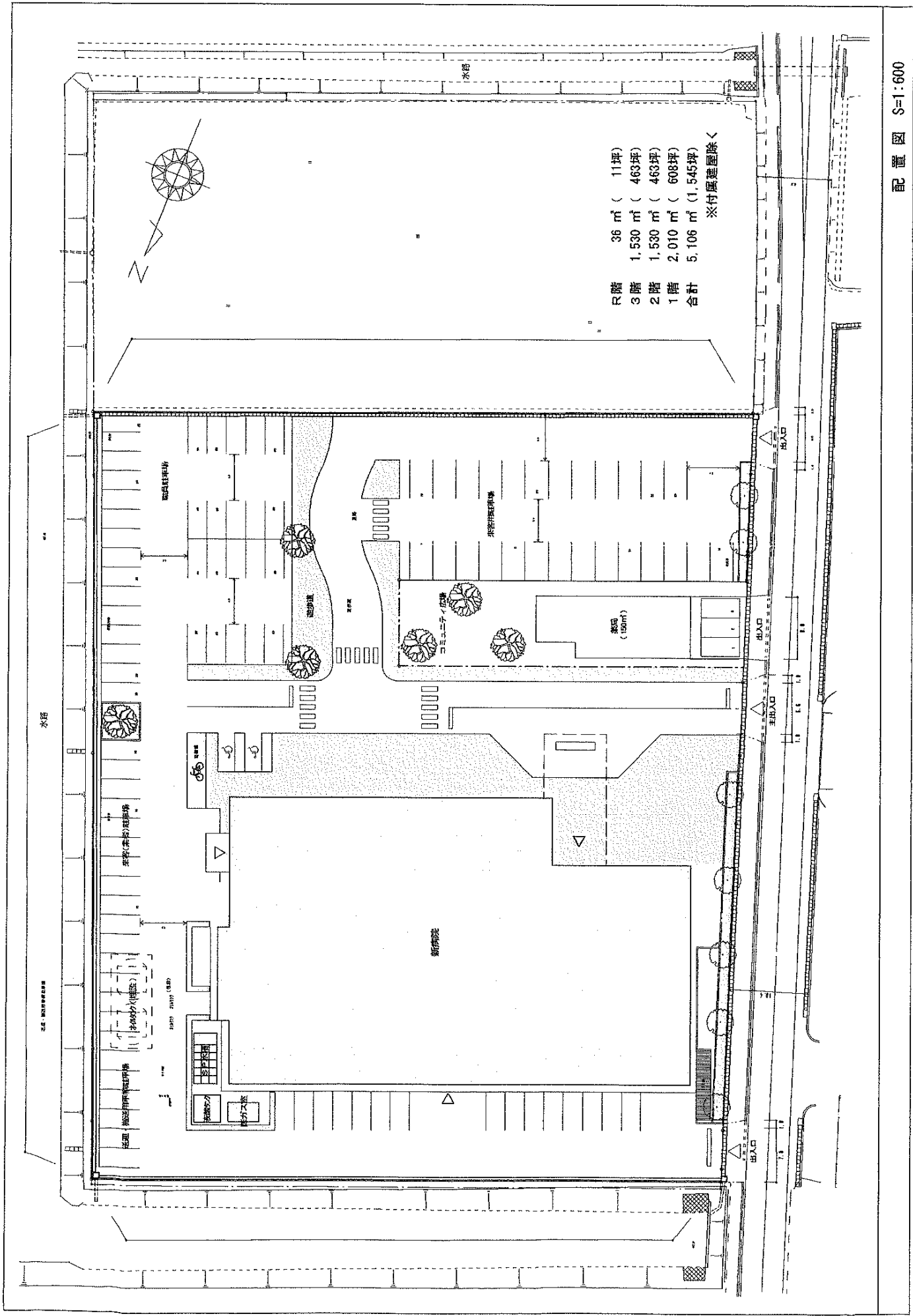
病床転換の計画

	現状	移転時	移転1ヶ月後
一般病床	90床	70床	30床
地域包括ケア病床	0床	20床	20床
回復期リハビリ病床	0床	0床	40床

今後の予定

- ・ 令和4年1月上旬；新病院工事着工（予定工期10ヶ月）
- ・ 令和4年12月上旬；開院予定
- ・ 病院機能；急性期医療も担いつつ、回復期機能を充実させる
（後方支援病院として充実）
- ・ 地域介護連携；地域連携室の強化、令和3年9月より訪問診療
開始（在宅への推進）





R階	36 m ²	(11坪)
3階	1,530 m ²	(463坪)
2階	1,530 m ²	(463坪)
1階	2,010 m ²	(608坪)
合計	5,106 m ²	(1,545坪)

※付属建屋除く

配置図 S=1:600